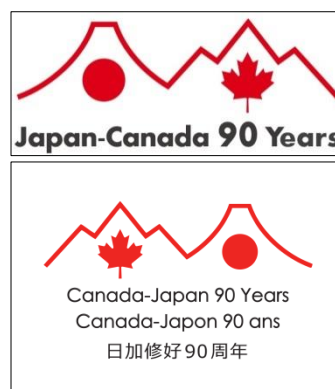


【伊藤総領事メッセージ 2019年9月】

今年はカナダが日本に公使館を設置して90年目に当たることから、日加修好90周年を記念する行事が引き続き行われています。「あれ、去年が90周年ではなかったの？」と疑問を抱かれる方もいらっしゃるかもしれません。昨年は、日本がカナダに公使館を設置し、両国間で正式に外交関係を樹立した1928年を起点として日加修好90周年を掲げ、主にカナダ国内において様々な記念行事が行われました。今年は、日本にあるカナダ大使館が日本国内で様々な記念行事を開催しているようですが、カナダ国内でも、90周年のモメンタムを引き続き活かして日加関係強化を進めるための取組が続いています（ちなみに日加修好90周年の記念ロゴも、昨年のもので今年のものでは、デザインの左右が入れ替わっています）。



オンタリオ州での今年の記念行事の代表的なものが、毎年ミシサガ市で開催されているジャパン・フェスティバル・カナダといえましょう。日加修好90周年を記念する今年は、憲仁親王妃久子殿下が8月24日の開会式に御臨席され、御挨拶の御言葉を頂戴しました。かつて高円宮殿下がオンタリオ州にあるクイーンズ大学に留学されたことに始まり、高円

宮家はカナダと深いつながりをお持ちであり、今回の御訪問で妃殿下のカナダ御訪問は10回目になられとのこと。ちなみに今年のジャパン・フェスティバルは天候に恵まれ、2日間で過去最高の9万人の来場者があったそうです。



高円宮妃殿下はトロント御滞在中に、カナダ・アジア太平洋財団とジャパン・ソサエティの共催による日加修好90周年ガラ・ディナーで基調講演をなされた他、王立オンタリオ博物館内の高円宮ギャラリーの御視察、ミシサガ市長主催レセプション、王立音楽院での子供達による音楽発表会、オンタリオ州副総督主催昼食会、日系文化会館への御訪問、元JETプログラム参加者及び元国費留学生との夕食会などの日程を精力的にこなされました。輝く笑顔と流暢な英語及びフランス語での機知に富むお話で、妃殿下にお会いした方々は皆、「日本のプリンセス」に魅了されたと言っても過言ではないでしょう。



ガラ・ディナーの機会には、共催団体の一つであるジャパン・ソサエティの会長を30年前の設立当初から務めてこられたベン・シプリエティ氏に対する旭日中綬章の授与式も行



いました。私たちが親しみを込めて「ベンさん」と日本語で呼びかける会長は、いつもにこやかな微笑みをたたえる紳士ですが、今回は高円宮妃殿下の御臨席のみならず、エリザベス・ドズウェル・オンタリオ州副総督、石兼駐カナダ大使、連邦政府及び州政府からの閣僚を含む330名のゲストの前で叙勲を受けたことで、感極まってうっすらと涙を浮かべていたのが印象的でした。

ドズウェル副総督主催による昼食会には、オンタリオ州内で日本の自治体と姉妹都市関係を有している自治体や交流団体の代表が招待され、これまでの活動の様子を妃殿下と副総督に説明することが出来ました。何しろオンタリオ州だけでも日本の2.8倍の面積を有する広さがあり、州内全ての姉妹都市交流関係者の出席はかないませんでした。それでもトロント、ミシサガ、ウィンザー、バーリントン、オークビル、バリー、パース、リンゼイ、ダンドスの代表が集まり、オンタリオ州だけでもこれだけの交流が行われていることに妃殿下も驚かれた御様子でした。「このような素晴らしい交流が行われていることをもっと多くの人々に伝え、交流が将来にも継続されるようにしてほしい」との妃殿下からの御言葉を、一同が噛みしめる機会となりました。



© Joe Segal, Office of the Lieutenant Governor of Ontario

さて、今年のジャパン・フェスティバル・カナダでは、津軽三味線奏者の上妻宏光氏とピアニストの塩谷哲のデュオ・グループである AGA-SHIO がメインステージで演奏し、その前日にお二人が日系文化会館で行った日加修好 90 周年記念コンサートと共に聴衆を魅了しました。また、ガラ・ディナーでは、日本のジャズピアニストである小曾根真氏がカナダの女性ジャズシンガーであるディオン・テイラー氏と共演しました。実はこの塩谷氏と小曾根氏はお二人とも、カナダの生んだ偉大なるジャズミュージシャンであるオスカー・ピーターソン氏の演奏を聞いたことが、その後の音楽への関わり方を大きく変え、心から音楽を楽しむようになったのだそうです。

聞く者にそれほどの強い影響を与えたオスカー・ピーターソン氏、その伝説のミュージシャンが演奏したピアノの一つが、様々な経緯を経て、私の公邸の応接間に置かれており、そのピアノを演奏しているピーターソン氏の後ろ姿の写真も飾られています。このピアノ

は自動演奏機能がついており、ピーターソン氏が演奏した曲も再現できるようになっています。AGA-SHIO の演奏会の前日に、ピーターソン氏の未亡人であるケリー・ピーターソンさんや AGA-SHIO のお二人もお招きして公邸で夕食会を開きましたが、食後にそのピアノの自動演奏を使い、オスカー・ピーターソン氏の演奏に皆で聞き入りました。彼のおかげで、日本では少なくとも二人のピアニストが音楽の喜びを知り、世界で活躍するようになり、カナダにも来訪してくれたのです。このようなところにも、日加の交流が実を結んでいることをつくづく実感した次第です。そして、音楽だけではなく様々な分野において日本人とカナダ人が出会い、交流することで、その後の人生がより豊かで実り多いものになることを強く期待せずにはられません。

